学校番号	T3005

平成31年度　芸術科

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	2単位	年次	2年次
使用教科書	改訂版　ON!1（音楽之友社）						
副教材等	無						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の4つの分野を学習します。
・学習の到達度は、授業で配付するワークシートや実技テストで評価します。
・音楽の学習は、実際にやってみて、試してみてこそ感性が豊かになります。

2　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：音楽への関心・意欲・態度	b：音楽表現の創意工夫	c：音楽表現の技能	d：鑑賞の能力
観点の趣旨	音楽や音楽文化に関心をもち、歌唱、器楽、創作、鑑賞の学習に主体的に取り組もうとする。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、歌唱、器楽、創作の音楽表現を工夫し、どのように歌うか、演奏するか、音楽をつくるかについて表現意図をもっている。	創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身に付け、創造的に表している。	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、楽曲や演奏を解釈したり、それらの価値を考えたりして、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。
評価方法	授業態度 ワークシート	授業態度 ワークシート	実技	授業態度 ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4 5	校歌	ソルフェージュ	○		○		a:歌う喜びを味わい、イメージをもって歌う学習に主体的に取り組もうとしている。 c:表現したいことを伝えるための歌唱の技能を身に付けている。	a:授業態度 c:実技
6 7	合唱	ポピュラーソング	○	○	○		a:グループ毎に合唱の練習をし、親しみやすい曲を合唱しようとする b:合唱を通して歌うことの楽しさを感じ、自分なりに工夫して合唱に取り組む c:親しみやすいポピュラーソングをグループで合唱することができる	a,b:授業態度 c:実技
9 10 11 12	演奏	アンサンブル活動	○	○	○	○	a:楽器を選択し、その特徴に触れながら演奏技術を身につけ、それを表現しようとしている b:選択した楽器の特徴を活かすために創意工夫を凝らすと共に、個人ではなく集団の中での演奏を工夫する c:適切な演奏技能を身につけ、豊かな表現をしている d:他者の演奏を鑑賞することで、お互いに表現を深め合っている	a,b,c:授業態度 b,c:実技 d:ワークシート
1 2 3	鑑賞	日本の歌 世界の歌	○			○	a:伝統的なものから名作まで、日本、世界の幅広い音楽を鑑賞し、それぞれの美しさを捉えながら自分の音楽感覚を豊かにしようとしている d:日本、世界の音楽を鑑賞し、自分の音楽感覚を伸ばす一助としている	a:授業態度、ワークシート d:ワークシート

※表中の観点について　　a：関心・意欲・態度　b：音楽表現の創意工夫
c：音楽表現の技能　d：鑑賞の能力

※年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）ですべての観点について評価することになるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている